

仕合わせの和



第216号

令和2年 3. 1

(毎月1日発行)

恩師の教えから

住職 谷川寛俊

人生の目的はどこにあるのか？何のために生きていくのか？何故、この世に生まれてきたのか？これらは昔から問われていることです。恩師曰く「心を高めること。そして魂を磨くことにある」と教えられた。

生きていく間は、欲に迷い惑うのが人間という生き物である。放っておけば私達は際限なく財産や地位や名誉を欲しがり、快楽に溺れかねない存在です。

確かに生きるためには、衣食が足りていなくてはならないし、不自由なく暮らしていくのも多少なりともお金は必要です。しかし、そういうものは現世限りで、いくらたくさん貯め込んでも、どれ一つとしてあの世へ持って行くことはできません。この世のことは、この世限りで一旦精算しなくてはなりません。その中で、たった一つ減びないものがあると思えば、それは「魂」というものかと思えます。やがて誰もが死を迎

えます。その時にこの世で作り上げた地位や名誉や財産も全て脱ぎ捨て、「魂」だけ携えて、新しい旅立ちをしなければなりません。だからこの世に何をしに来たのかと問われたら、私は迷いもためらいもなく、生まれた時よりも少しでも真つ当な人間になり、少しでも美しい崇高な魂を持つて次の世に旅立つていくことだと言いつつ切ります。

昨日よりも今日が、そして今日よりも明日の自分が、すこしでも誠実な人間に成長できるように日々努力していかうと誓っています。

生きていくことは苦しいことの方が多いいのだと思います。時には、なぜ自分だけがこんなに苦勞しなければならぬのか？神仏を恨みたくなることもあるかもしれません。しかしそのような時にこそ考えて頂きたいのです。苦しい世だからこそ、その苦は魂を磨くための試練なのだと。つまり苦勞とは己の人間性を鍛えるための絶好のチャンスだと受け止めて頂きたいのです。そして人間は生まれてきた時に持ち合わせている「宿命」というものがあります。この宿命は前の世から

真成寺ホームページ

<https://bit.ly/2Gz55Mz>

編集・発行

玉蓮山 真成寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

携帯 080-3744-2523

こちらの番号でも

お寺につながります。

の決まりもので変える事は出来ません。しかし「運命」は、努力と信仰心によって変わってきます。昔からよく申しますように「運」が味方してくれないと、物事は上手く「運ばない」などと申します。いくら物知りでも、いくら知恵者であつても、いくら働き者であるうとも、人間は人間の出来る範囲以外に出来ないものがあります。そこにこそ謙虚な気持ちで神仏にお祈りする必要があるのだと思います。事業を成功させて有名になつたり、お金持ちになつたり。そんなことのために人生があるのではないと思えます。本当の人生を生きるとは、自分の魂を磨くことにあるのだと思えます。そしてやがて死んでいく時には、生まれた時に持ってきた魂より、少しでも美しい魂に成長させる事でありませう。美しい魂とは、良い思いを心に抱き、少しでも良い事を実行することです。一日一善という言葉があるように、少なくとも一日一回は良い行いをして善因を作り、周囲

の人達から褒められるような人生を送る、ということではないでしょうか。不思議なことに、そのように実践していると、性格や人柄まで変わってくるようです。ようするに、今生きている現世とは、心を高める為に与えられた期間であり、魂を磨くための修養の場であるのかもしれない。どうぞ、魂を磨くため、日々の信仰に励みましよう。

